

平成24年度当初予算 予算要求シート

整理番号	214 - 016	マスタープラン 3つの挑戦	-	マスタープラン 施策番号	1 - 3	局・課名	西区役所 地域福祉課
区分	その他一般施策						(単位 千円)

事業名	聴覚・視覚障害者コミュニケーション支援事業(西区)		平成22年度決算額	平成23年度予算額	平成24年度要求額
関連事業	健康福祉局 聴覚・視覚障害者コミュニケーション支援事業(本庁)		事業費	3,802	3,955
			事業期間	S46～ H	全体事業費
事業目的	<p>聴覚・視覚障害者の社会生活におけるコミュニケーションを確保し、障害者が安心して暮らせる社会を実現する。</p>				
	<p>今年度要求のポイント</p> <p>西区聴覚障害者相談員の手話通訳者派遣件数は年々増加している。今年度は、特に聴覚障害者相談員の資質向上のため、参加する研修予算を要求する。研修内容については手話通訳者、要約筆記者、点訳・音訳奉仕員の養成となっている。</p>				
事業内容	(単位：千円)				
	<p>主な要求内容</p>				
	項目	23年度予算	24年度要求額	内容・積算等	
①聴覚障害者相談員の設置：各区役所に手話のできる聴覚障害者相談員を配置し、聴覚障害者の相談や、手話通訳を行う。	報酬	3,578	3,557	聴覚障害者相談員報酬	
②手話通訳者・要約筆記者の派遣：聴覚障害者が病院への受診、社会参加活動などを行う際に手話通訳者や要約筆記者を派遣する。	旅費 費用弁償(その他)	30	96	研修参加のための交通費	
	旅費 費用弁償(通勤費)	178	269	聴覚障害者相談員通勤費	
③視覚障害者に対するボランティア活動を支援する。	役務費 通信運搬費	12	23	バスカード、郵便代等	
	負担金、補助及び交付金	4	10	研修参加負担金	
	合計	3,802	3,955		
スケジュール(経過及び今後展開)				その他 特記事項	
<p>【経過(～23年度)】</p> <p>昭和46年より聴覚・視覚障害者のコミュニケーション手段の確保のための施策を実施</p>	<p>【24年度】</p> <p>視覚・聴覚障害者センターとの連携による施策展開</p>	<p>【今後(25年度～)】</p> <p>事業の継続実施</p>	<p>健康福祉プラザが、手話通訳の統括的な役割を担うようになると思われる。</p>		